

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ライブハウスコース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用				
授業概要					
Excel・Word・PowerPointといったマイクロソフト系ツールや、GoogleWorkSpaceの各種アプリケーションの入門～基礎操作、活用方法をオンデマンド授業で学ぶ					
到達目標					
授業内でのPC作業や、社会人になってから応用できるPCテクニックを身につける					
授業計画・内容					
【前期】 1～8回目	PCテクニック～Word編～				
【前期】 9～13回目	PCテクニック～Excel編～				
【前期】 14～19回目	PCテクニック～Google編～				
【後期】 20～24回目	PCテクニック～Google編～				
【後期】 25～27回目	PCテクニック～Google スプレッドシート編～				
【後期】 28～33回目	PCテクニック～PowerPoint編～				
【後期】 34～37回目	PCテクニック～Google スライド編～				
【後期】 38回目	PCテクニック～ Web会議ツール編～				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタテインメント業界応用講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	エンタテインメント業界応用講座	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
<b>授業概要</b>					
音楽業界の構造を学び、ライブ制作を行うことでサウンドエンジニアとしての役割を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
レコーディングエンジニアとして必要なこと、求められることの理解。コミュニケーション能力の向上。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	レコード会社についてプロダクションについて				
【前期】 6～10回目	WEB制作について				
【前期】 11～15回目	音源制作の流れについて				
【前期】 16～19回目	ライブ制作の流れについて 前期試験				
【後期】 20～24回目	イベントのコセプト決め				
【後期】 25～29回目	アーティストブッキング				
【後期】 30～34回目	イベントに関わる資料作成				
【後期】 35～38回目	ライブ実習 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	Avid Learning 101&110		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	Avid Learning 101&110	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。				
<b>授業概要</b>					
世界中の音楽スタジオや楽曲作成には欠かせない音楽ソフトウェアのProToolsの基本的な操作方法と技術を学ぶと同時にAvid社公認ProToolsオペレーター#101, #110の取得を目指す。					
<b>到達目標</b>					
Avid社公認ProToolsオペレーター#101及び#110の取得。ProToolsを通じてサウンドエンジニアとしてあらゆる場面で活躍できる人材になることを目的とする。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	Avidの基本とワークフロー理解 イントロダクション - Avidの概要とDAW(Pro Tools)の基本概念/Pro Toolsのインターフェース - メニュー、ウィンドウ、ショートカットの理解/プロジェクトの作成とセッション管理 - ファイル構造、セッション設定、バックアップ				
【前期】 6～10回目	録音の基礎 トラックの種類と設定 - オーディオトラック、AUX、MIDI、インストゥルメント/オーディオ録音 - マイク設定、入力レベル調整、パンチイン・パンチアウト/MIDIの基礎 - パーチャルインストゥルメント、MIDIノート編集				
【前期】 11～15回目	オーディオ編集の基本 波形編集 - カット、フェードイン/アウト、クリップゲインの操作/タイムストレッチ&ピッチシフト - Elastic Audioの基本/グリッド&テンポマッピング - メトロノームとBPM設定				
【前期】 16～19回目	ミキシングの基礎/前期試験 基本的なミキシング - バランス調整、パンニング、ゲインステージング/EQ(イコライザー)の基礎 - 周波数帯域の理解、カット&ブーストテクニック/ダイナミクス処理 - コンプレッサー、リミッター、エキスパンダー				
【後期】 20～24回目	空間処理とオーディオエフェクト(リバーブ&ディレイ - 空間系エフェクトの使い方と設定/コーラス・フェイザー・フランジャー - モジュレーションエフェクトの理解) 高度な録音技術(マルチマイク録音 - ステレオテクニック、フェーズ管理)/ボイス録音とエディット - ピッチ補正(Melodyne、Auto-Tune)				
【後期】 25～29回目	アドバンスドエディティング(高度なElastic Audio - ナチュラルなタイムストレッチの技術/オートメーションの活用 - ボリューム、パン、エフェクトオートメーション)				
【後期】 30～34回目	プロフェッショナルミキシング サチュレーション&ディストーション - アナログサウンドの再現/パラレルコンプレッション&マルチバンド処理 - モダンミキシングテクニック/ミックスバス処理 - ステレオバスのコンプレッション&EQ				
【後期】 35～38回目	マスタリングと納品(マスタリングの基礎 - ラウドネス規格(LUFS)、ダイナミクス管理、リミッター設定 - 配信向け音圧調整) 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	デジタル機材講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	デジタル機材講座	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。				
<b>授業概要</b>					
パソコンの内部構造の知識を中心に、オペレートに必要な音響知識を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
パソコンの内部構造の理解。音響知識の修得。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	音と色について(コミュニケーション・伝えること)、データ容量について、圧縮音質について(wav.mp3.ac3などの拡張子)リバーブ・パラメーターについて、ディレイ・EQについて				
【前期】 6～10回目	ProTools(設定項目/初期設定)について、CD作成までの行程、エンジニアは音をどのように聴いているのかレコーディングに関する知識(ドラム、ギター、ベース、その他楽器、ステレオマイキング)				
【前期】 11～15回目	ヴォーカルテクニック(ヴォーカルディレクションとピッチ補正の考え方、ヴォーカルセレクトとメロダインの使い方)変拍子、テンポチェンジのクリック作成、マスタリングについて内容説明、実践での説明、				
【前期】 16～19回目	ライブレコーディングに関する知識(プランニング、機材知識) 前期試験				
【後期】 20～24回目	ライブにおける舞台・音響(ステージプロット・舞台用語など)、マニピュレーター役割・作業内容 音楽メディアユーザー実態調査(日本レコード協会の記事にて説明)、ライドネス戦争について(音圧レベルの歴史)				
【後期】 25～29回目	マルチトラックレコーダーについて(録音の歴史)、Grooveの考え方について(ノリとグループの違い) アフレコ収録について(内容、用語の説明/ラジオの時間(視聴)/台本の打ち合わせ/BGM、効果音、素材作成)				
【後期】 30～34回目	ラジオ局について、ライブ実習イベント調整 ミックス作業(PT実習との2コマ続き)				
【後期】 35～38回目	総復習 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ProTools講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ProTools講座Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。				
<b>授業概要</b>					
レコーディングスタジオでのProToolsの操作方法等についての学習。					
<b>到達目標</b>					
ProToolsにおける編集操作、バランスの取り方、プラグインの使い方などの習得。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	新規セッションについて(ダッシュボード、Sampling,bit rate,etc) セッション、ファイル管理について(フォルダー階層)/オケ+ヴォーカルのバランス				
【前期】 6～10回目	マルチトラック編集(編集ツール・ナッジ/Beat detective/Erastic Audio)				
【前期】 11～15回目	ミックスバランスについて(プラグイン/ルーティング、ベーシックフォルダー、VCAグループ、バンドミックス)				
【前期】 16～19回目	ナレーション編集(RX プラグイン作業/Erastic Audio 前期試験				
【後期】 20～24回目	アレンジについて(インストラックの活用(プラグイン)/ミックス)				
【後期】 25～29回目	ミックスバランスについて(バンドミックスor VoSampleRec/元音源に合わせて忠実にミックスする)				
【後期】 30～34回目	ミックスについて(音圧レベル、バランスの補正、方向性のコミュニケーション、最終調整)				
【後期】 35～38回目	総復習 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ポストプロダクション講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ポストプロダクション講座	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオからキャリアをスタートさせ、現在は主に民放・BSを中心に旅・バラエティ・音楽番組・各種CMにおいてMA及び選曲・音響効果を担当している。				
<b>授業概要</b>					
映像編集・MA作業について解説し、映像作品が出来上がるまでの一連の流れを学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
ポストプロダクションに対する理解を深め、就職の幅を広げる。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	映像制作の流れ 映像制作に携わる人々(職種)紹介 テレビ産業の成り立ち				
【前期】 6～10回目	プロデューサーとディレクターの仕事内容 テレビ局について(ネットワーク・独立U局・系列局) カメラの高さとアングルについて				
【前期】 11～15回目	照明機材紹介～ライトポジション MAの作業の流れ 納品の系態・ルール				
【前期】 16～19回目	リニア編集とノンリニア編集 キャプチャーカード・ボックスとは? 前期試験				
【後期】 20～24回目	ビデオフォーマット(SDとHD) タイムコードについて、走査線について				
【後期】 25～29回目	モニター(ディスプレイ)について 液晶・有機EL等 液晶の表面処理(グレア・ノングレア)映像の入出力端子				
【後期】 30～34回目	PCの入出力端子、USBの電源供給方式 HDDのフォーマット形式、音声の入出力端子				
【後期】 35～38回目	PCオーディオについて(ハイレゾ・圧縮音源の種類・ネットワークオーディオ等)、インターネット放送・配信について 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC応用		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	PC応用	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学にてジャズギターを学んだ後、卒業後はCM作曲家として活動を始め、現在に至るまで作曲や、楽曲のプレゼン、楽曲とコンテンツ(画像・動画等)を合わせた納品等を行う。				
<b>授業概要</b>					
GarageBand、Illustrator、Photoshop、Animate CC等、クリエイティブなソフトを使用方法を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
GarageBand、Illustrator、Photoshop、Animate CC等のソフトの使用法の習得。デザイン能力向上。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	GarageBand ・基本操作説明・用語等の説明・打ち込み練習				
【前期】 6～10回目	GarageBand 課題曲打ち込み				
【前期】 11～15回目	Excel ・1年生で学んだ機能等の復習問題・1年生で触れなかった関数等の説明&応用				
【前期】 16～19回目	Illustrator&Photoshopを使用して、フライヤー作成方法、入稿の説明 前期試験				
【後期】 20～24回目	Illustrator&Photoshopを使用したフライヤー作成作業				
【後期】 25～29回目	PowerPoint ・基本操作説明・作業・PowerPoint発表				
【後期】 30～34回目	Photoshop ・1年生で触れなかった機能等の説明&応用・作業				
【後期】 35～38回目	総復習 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング基礎Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	レコーディング基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。				
<b>授業概要</b>					
楽器の録音、ナレーション、アフレコなど多岐に渡って実習を行う。					
<b>到達目標</b>					
レコーディングに関する技能の発展、向上。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～8回目	スタジオのシステム、機材の名称の確認 スタジオの用途、操作方法の確認 実際にコンソール機材を操作しながらのレコーディング作業				
【前期】 9～16回目	アーティスト録音におけるプランニング プリプロレコーディング 本番レコーディングのための予行				
【前期】 17～30回目	さまざまなマイクの音、セッティング アルバム制作レコーディング ベーシックレコーディング				
【前期】 31～38回目	ギターダビング ボーカルレコーディング レコーディングした曲を使ってエディット				
【前期】 39～44回目	プラグインの使い方 前期試験				
【後期】 45～48回目	ミックスダウンの仕方・流れ ミックスダウンの試聴 マスタリングの説明				
【後期】 49～56回目	ライブレコーディングのシステム 合同授業にてライブレコーディングのシュミレーション・録音				
【後期】 57～66回目	ナレーション録音 効果音制作 BGM収録				
【後期】 67～84回目	アフレコ収録 アフレコ編集				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	レコーディング実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。				
<b>授業概要</b>					
実際にアーティストのレコーディング～MIX～マスタリングやアフレコ収録など幅広く学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
業界水準レベルの技術の習得					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～8回目	BandSetting(基礎)・シグナルの確認 Neve Genesys / SSLの操作				
【前期】 9～16回目	Band Recording・SSW Recording Band Recording・mix				
【前期】 17～30回目	Band Recording・SSW Recording Band Recording・mix				
【前期】 31～38回目	Narration Rec(練習/本番/編集/ミックス)				
【前期】 39～44回目	BandSetting(応用)・卓Mix/バランス(基礎) 前期試験				
【後期】 45～48回目	Band Recording・SSW Recording Band Recording・mix				
【後期】 49～56回目	Band Recording・SSW Recording Band Recording・mix				
【後期】 57～66回目	アフレコ練習 / mix バランス(応用) / アフレコ収録編集・試聴会				
【後期】 67～84回目	自主制作録音 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	レコーディング実地演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	レコーディングコース / PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
<b>授業概要</b>					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
<b>到達目標</b>					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力をして作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					
<b>授業計画・内容</b>					
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント				
2回目	ポストプロダクション企業見学				
3回目	Inter BEE見学				
4～5回目	ゲスト講師によるレコーディングスタジオ実習				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					